

清水小 校長室だより No.29

2019. 12. 5(木) 文責：筒井

秋(冬)の日はつるべ落とし

朝夕はぐっと寒くなりました。晩秋を過ぎて初冬となりました。今朝の清水小の外気温は8℃です。

子ども達の服装も長袖、長ズボンが多くなり、色とりどりの上着も見られるようになりました。その中で、まだ半袖、半パンの元気な子どももいます。『寒くない?』と聞くと、「へっちゃら。」との返事。

この時期は私は例年なら、毎朝、烏賊釣りに行っていました。朝4時半には、ピカッと?目が覚め、5時から6時頃まで海にいるはずなのに…。今年はエサの小アジも釣れず、烏賊も釣れず…。最近ではあきらめてほぼ家にいます。新聞を隅から隅まで読んでも、時間を持て余している次第です。もうそろそろ…。釣れて欲しいのですが…。

まあ出勤前に釣りができることは実に幸せなことだろうと感謝しています。…と余分な話になりましたが…。夜が明けてだんだん明るくなって太陽が顔を出すと「今日もいい一日になりますように」と手を合わせています。

毎朝こんな生活をしていると、自然の変化には、誰よりも敏感です。毎朝一日ごとに、日の出が遅くなっているのを実感します。今頃は、ほぼ日の出が毎日1分ずつ遅くなり、日の入りは、数秒ずつ早くなっています。

仕事を終えて、家に帰り着く頃は、もう真っ暗です。晩秋のこの頃を表す日本語に、「秋の日は釣瓶(つるべ)落とし」と言う言葉があります。

釣瓶が井戸にストンと落ちていくように、あっという間に日が沈むことの形容で使われます。秋は日照時間が短く、西日が一気に沈み、すぐに日没となり暗くなります。秋の日の入りの早さをうまく言い表している日本の美しい言葉です。

『つるべ』を知っている保護者の方は、ほとんどいないのかなと思いますが、昔、井戸で水をくみ上げる時に使われた入れ物のことです。だいたい木と竹でできており、木の滑車を利用して縄につり下げられた「つるべ」を使って、井戸から水を汲んでいました。時々、水戸黄門や大岡越前等の時代劇では、出てきますね。(あまり見ないかも)

今、子ども達の家にも井戸のある家は一軒でもあるのでしょうか?私の小学生の頃は、まだ我が家の庭に井戸がありました。その井戸は、つるべではなくて、手動のポンプ式でくみ上げていました。



(公開授業 6-1 12/4)

もちろん水道もあったので、日常生活では、ほとんど使うことはなかったですが、畑から採ってきた大根や芋を洗う時には使っていました。ポンプを押すと水が出てくるのがとても楽しく、よく遊んでいた記憶があります。もちろん水道代は無料です。



(清水小相撲クラブ 12/2)

さてここからが一番言いたいことです。

子ども達が学校から家に帰る頃が、ちょうど日の暮れの時間と重なります。この時間は、仕事から帰宅する車も多い時間帯です。日暮れ時は、運転席から周りの様子が見えにくくなり、事故も起こりやすくなります。くれぐれも交通事故に遭わないように、気をつけて欲しいです。

先週金曜日、午後6時前にグリーンハイツ方面に帰る子ども達が不審者と思われる人に、後をつけられたように感じて怖かったという事案がありました。安心メールでもお知らせし、警察も補導センターも巡回してくれていますが、詳細は不明のままです。その後は、そのような人は見かけられていませんが、こちらも要注意です。

下校時間を過ぎても、教室や運動場には、たくさん子ども達がいます。家の人の迎えを待っている人もいますが、教室で友だちと遊んでいる人やサッカーをしている人もいます。学校で友だちと楽しく過ごしていることはうれしいのですが、やはり暗くならないうちに家に着いて欲しいと思います。徒歩や自転車の方は特に要注意です!

『学校が躍動している』!

今朝はあいさつ運動の日。少し肌寒く感じる中、1年生も加わり、6年生と児童会の人を中心に、『おはようございます。』の音が響く。

運動場では、先週発足した清水小駅伝チームが、輪になって準備運動をして、校庭の周囲を走っている。校庭ではドッチボールとサッカーの一群がボールを追っている。ブランコ、滑り台、ジャングルジムにも数名ずつの子ども。

昨日出した縄跳び練習台では、早速縄跳びを練習している。スロープ付近では鬼ごっこも。

その間もぞくぞくと登校してくる子ども達。

やがて8時10分になり、チャレランの音楽で校庭は、走る子ども達でいっぱいになる。

そして、今はどの教室もしっかり勉強している。

日々いろんな出来事がある。昨日の職員会でも落ち着かない子どもやトラブルの実態が報告されたが、色々あって当然、その中で子どもは成長する。毎日子どもと職員が躍動している清水小だ!